

月刊

ひでかじ



5

2019

4月21日にリンキィディンクスタジオ吉祥寺 ORES S スタにて「青春ソング・カバー集」公演が行われました。参加メンバーは美香・優里彩の二人。開演時間が近づき移動しようとした美香さんがドラムセットのシンバルに触れてしまい、時間を知らせる効果音になって爆笑ムードに包まれて始まりました。今日は一段と背が高いと紹介された優里彩ちゃん、気合いを入れてきたそう。今回は一年ぶりの会場で、新鮮な気持ちになると美香さん。カバー曲中心でゆったりと懐かしの珍しい曲をお届けすること。まずは『トップ・オブ・ザ・ワールド』『遙かなる影』を披露。『Carpenters FOREVER』のCDリリース記念公演が中野サンプラザで行われて、錚々たる先輩たちと共演したと美香さん。その時は“THE DUET”の相方が辞めてしまった後で、急遽吉成圭子さんと一緒に歌った思い出があるとのこと。カーペンターズのカレンはサラッと喋るように歌っていて、真似しようとしたけれど出来なかったと美香さん。音域がものすごくブレスも長いので、真似すると死にそうになるとか(^^;)。続いては『IN MY LIFE』『OB-LA-DI OB-LA-DA』を優里彩ちゃんが披露。歌詞が春らしくて好きとのこと。『イエスタデイ・ワンス・モア』は太田裕美さんとレコーディングが一緒に、素晴らしかったと美香さん。昨日の様に覚えている…かどうかはわかりませんが、続いて『Yesterday』を披露しました。『シング』のコーラスを聞いて「SKi の声に似ていますね」と優里彩ちゃん。その通りです(^^;)。『戦争を知らない』は泣きそうになるけれど我慢して歌うと優里彩ちゃん。『この広い野原いっぱい』は『日本を元気にした歌』に収録されていますが、SKi の配信されている曲を多い順に並べるとこのアルバムの曲が多いとか。聴いたらビックリすると思うと美香さん。「カバーするのに同じ歌い方をすると失礼にあたり、アレンジしてこういうふうにしました」というのが敬意を表しているというのが高橋 P のこだわりとのこと。「それにしても結構斬新」という声(^^;)。続いて『秋桜』を披露。「あきざくら」と紹介する優里彩ちゃん。ちゃんとしたタイトル覚えまして？と突っこまれて「コスモスですよ」と恐る恐る答えていました。『あの悲劇 もう二度と』は飲酒運転で無くなった人のことを歌った曲とのこと。ちなみに「これはカバーじゃないです」と美香さん。みなさんの青春ソングはなんですか？と振って『いつまでも いつまでも』を披露します。ここで「すごく普通にありちゃんが座ってるんですね」と、ずっと音出しをしてくれていた星乃愛里彩ちゃんを紹介。「あ、ホントだ！」と驚く振りの客さんたち(笑)。新生活に大夫慣れてきて、充実した生活を送っているようだ。夜食が無くなってきて、口内炎が無くなったと愛里彩ちゃん。朝も今迄はさっちゃんに揺さぶられても起きなかつたけれど、1回目で起きれるようになったそう(^^)。曲に戻って『見上げてごらん夜の星を』を披露。条件反射でドキッとのお客さん(^^;)。卒業の発表はないから大丈夫と美香さん。実際は驚かす曲じゃないと訴えます。でも、SKi の長い歴史で卒業を発表する前の曲として定番になっているのでしかたがないですね。『Boxer』に続いて『あの素晴らしい愛をもう一度』を披露。ここまでで知ってる曲ありました？と振られて『あきざくら…』と優里彩ちゃん(^^;)。日本語の美しさを感じるそう。好きな曲がいっぱいあって、世代的に前の曲だけれど良い曲が多いなあと思ったと美香さん。選ぶのは大変だったけれど、歌うのが楽しかったとのこと。最後に『いつでも夢を』を披露して「青春ソング・カバー集」公演は終了しました。



愛里彩・美香・優里彩

同日に「アコースティック・ライブ」が行われました。今回は腰掛けモードで椅子に座っての公演です。心に染みる懐かしい曲を披露するので、寝ずに目を開けて下さいと優里彩ちゃん。ライブでギターを持って歌うのは集会くらいで久しぶりの感じがすると美香さん。でも1曲目はオケを使って『BIG SKY』を披露します。「ありちゃんの音出し仕事を作らないとね」と声が掛かり爆笑が(^;)。2曲目からはアコースティックで美香さんの弾き語り。『THE WATER IS WIDE』は世界中のアーティストがカバーしている曲で、SKi流の日本語詞もあって好きと美香さん。続けて『オリーブの樹の下で』を披露。初めてギターを披露した日にギターを落としてショックだったと思い出を語ります。当時は『If not for you』や『ME AND BOBBY McGEE』をひたすら練習したそう。すると適応して薬指の第1関節にギターだこが出来て、便利だなあと思ったとか。でもしばらくギターをサボると皮が再生するそう。優里彩ちゃんも挑戦したことがあるけれど、『走れ！走れ！ SKi』の最初のコードで諦めたとか(^;)。続いて『ディポーティーズ』『風に吹かれて』『メンフィス・ブルース・アゲイン』とディランに関する曲を披露。身の程知らずと思うけれど、ディランのラジオ番組で行われたカバー曲のコンテストに応募したエピソードを語ります。良い経験になったそう。『恋のバカンス』に続いて『革命なんて知らない』を披露。すぐ声が枯れてしまうのでレコーディングは苦労したと優里彩ちゃん。“THE DUET”で松尾真冬ちゃんと組んでいた時代に初披露してから長い間眠っていたけれど出来たてホヤホヤの様な歌詞と美香さん。ここで愛里彩ちゃんも登場してトークを行います。「この美貌でミュージックステーションに出ないんですか？」と愛里彩ちゃん。「気をつけないと齋藤家は褒め殺ししてくる」と美香さん(^;)。近況は毎日子供たちに癒やされていると愛里彩ちゃん。まだ先生と言われるレベルに達していないとか。それでも体力や筋肉がついてきたそう。またポラでね…とお別れして“初めてシリーズ”でフォークソングをカバーします。「歌声喫茶の雰囲気、一緒に歌って良いですよ」と美香さん。『神田川』『いちご白書』をもう一度』を披露。曲が終わる旅に譜面をめくる優里彩ちゃん。その仕草が格好良くて注目を浴びます(^)。『贈る言葉』では、「卒業式で大役があった」と美香さん。しかも呼びかけの一発目だったそう。続いて『サルビアの花』『酒と泪と男と女』『心の旅』を披露します。ここで今しか歌えない新曲とのことで『新年号に、よっせて！』を披露。最後のオチに戸惑うお客さんたちでした(^;)。最後は『グレートフル・デッドを聴きながら』『長い夜』で盛り上がり、「アコースティック・ライブ」は終了しました。



優里彩・美香

ライブ終了後は“うな鐵”に移動して「春一番！突然ライブの後のお食事会」が行われました。みんなで鰻の蒲焼きをいただきます。「カバー集の後だからカバー焼き？」との声に、「そうかも…」と美香さん(^)。ここでは「突然何かが決まって良かったこと・悪かったこと」をリサーチ。“Petty Booka”かなあ…。と美香さん。英語やウクレレを覚えられたけれど、特訓が大変だったそう。今日鰻を食べることを知らなかったの、食べれて嬉しかったと優里彩ちゃん。金縛りも突然起こるそう。感想では、鰻は好きな食べ物ベスト3に入るので、今日食べることが出来て倍以上に嬉しいと優里彩ちゃん。久しぶりに鰻を食べて、お腹が空いていたのもあって余裕で食べられたと美香さん。一日通して、懐かしい曲を歌えて良かったとのことでした。

4月27日に～浅草寺から周辺を散策し浅草の歴史に触れ学び名物を食す有意義な1日～「第1弾!浅草に学ぶ」が行われました。集合場所を探して歩いていると、本堂の上から声が掛けられます。しばらくしてゲストの玉野ともえちゃんがやってきます。時間まではしばらくあるので、その間にお神籤に挑戦する玉ちゃん。見事に大吉を引いて嬉しそうです。浅草はお参りで良く来るそうだ。時間になり、「せっかくなのでお参りしましょう」と美香さん。参拝を済ませ、銭塚地藏堂に移動します。現在は再建工事中で、仮舎でひっそりと設営されています。それでも御利益を求めて行列が出来ていました。今度は法善院方面に移動。どんどん人気が無くなって、中心から離れていきます。すると何故か“ゲゲゲの鬼太郎”の石像たちが現れます。目玉おやじを見つけて美香さん十八番のモノマネが炸裂、“本日の目玉”が終了しました(笑)。再び浅草寺の中心に戻り、御神輿を見つけてテンションが上がる玉ちゃん。お祭りと聞くと血が騒ぐそうだ。9月に“SKiの生誕”という祭りがありますが、いかがでしょう?(笑)。散策を続けると、伊藤園の新茶サービスに遭遇して一息入れます。お茶請けのお菓子も欲しくなりますが我慢して散策を再開。宝蔵門を過ぎると浅草寺からお別れになるので、本堂をバックに記念撮影を行います。仲見世通りに入るとすぐに良い匂いに誘われて浅草九重前で足が止まります。ここであげまんじゅうをいただきますが、待ちきれずに自腹で大量に買い込む玉ちゃん(^_^;)。集合前に蕎麦を食べて来たけれど、甘いものは別腹らしい(^_^;)。散策を再開して伝法院通りから浅草六区通りへ向かいます。どこかで見かけた風景は、まるで小さな映画の様です(^)。祈念碑の前で記念写真をパチリ。その側に“話神”の顔ハメ看板があり、玉ちゃんに入ってもらいます。結構似合っていて「玉屋とも兵衛」と命名されました(笑)。更に散策を勧め、デジャブな風景を見ながら浅草水口食堂に到着します。中を覗いて、玉ちゃんの大吉効果か奇跡的に座席が空いてお食事会が始まります。地元の人が利用する、安くてボリュームな定食に驚く一行でした。そんな中、単品とお酒をオーダーする玉ちゃん。一人だけ別世界ようです。ヨッパライが一人増えたと美香さん(^_^;)。ちなみに連休中のイベントはゲストが豊富なので、優里彩ちゃんはお休みのことでした。ここでは「自分の名物」をリサーチ。しばらく考えた後に、“うさこ?”と美香さん。オリジナルのキャラクターで、最近ではうさこTシャツも登場しましたね。名物料理はナポリタン。パスタで一番作るそうだ。天ぷらはたくさん作って、翌日に麺汁で煮てご飯と一緒に食べると天井みたいになるそうだ。“変顔”と即答の玉ちゃん(^_^;)。料理は5ヶ月ぐらいしていないらしい。ハサミで切れるもので水菜やほうれん草・海苔?が得意らしい。近況では「妹がハムスターを拾って来た」と答えて、耳を疑う一同(^_^;)。アニメを見過ぎて視力が落ちて、パソコン画面が見えなくて困っているとか。感想では、あつという間だなあ～と玉ちゃん。始まりから自分の中で楽しんでいるな～と思うとか。浅草に来たのは一年ぶりで、食べたいの食べたし飲めたし、こういう時間大事だなあと感じたそうだ。結構廻れて、観光スポットもあって名物も食べれて美味しかったと美香さん。このままお開きになるのは寂しいと、近くの“神谷バー”に移動して、二次会で盛り上がりました。



ともえ・美香



4月28日に「ビックな企画 第2弾!久々のクッキング・スペシャル」が行われました。四谷3丁目駅の出口で集合。路地を歩いて“One kitchen”に到着します。美香さんと、エプロン姿の稲石清美ちゃんがお出迎え。ここはキッチン付きのレンタルスペースで、良くホームパーティーや料理イベントに使われるところらしい。「今日はクッキングイベントで、めったにないイベントに来て下さりありがとうございます」と美香さん。お料理イベントということで清美ちゃんの顔が浮かんだとのこと。2年前に料理研究家になったという清美ちゃん。「6期生ということで、当時“吉乃清美”として活動していました」とごあいさつ。楽しかった思い出が蘇って、こうやって方向性は違うけれど、イベント出来るのが嬉しいとのこと。「今日はバターチキンカレーを作りたいと…」と言った瞬間、ピピピピ…と音が響きます。お料理番組でよくある「事前に作ったものを」というわけではなく、ご飯が炊き上がった音でした(笑)。さっそくキッチン作業に取りかかります。「じっと見ているとやりづらいと思うので」とトークタイムが始まります。清美ちゃんを置いてみんなでジュースで乾杯(^^)。BGMでアマゾンミュージックでSKiの再生数が多い順に曲を流します。まずは『いつでも夢を』が掛かります。前回のライブでも言っていましたが、『日本を元気にした歌』が上位に入っているらしい。2曲目は『遠き山に日は落ちて』。唱歌も多いみたいです。何故か3曲目に『〇でない少女の×な生活』が掛かって驚くお客さんたち。そうしている間にバターチキンカレーが完成します。このメニューは清美ちゃんが考案したそうで、ホームページではレシピも販売しているとか。なんで料理研究家になったのかが気になる様子の美香さん。食べるのが好きだし、やっていて楽しいと清美ちゃん。人間にとって食べることは必要だし、料理で発信しているいろいろな方と繋がれたら…と思って、講師だけでは無くいろいろな処で発信したいとのこと。メニュー開発を依頼されたり、最近ではデパートでパンケーキを出展しているそうだ。6月には恵比寿のお店でランチ営業を委託されているとのこと。楽しい時間はあっという間で、カレーも時間も無くなってきます。「洗うのは私にやらせて」と、美香さんもエプロン姿で後片付けをしていました。



清美・美香

名曲・珈琲 新宿らんぶるに移動して「クラシック喫茶でお茶会」が行われました。結構混み合っていて並んで待っていると、イベントに最適な配置の座席に案内されます(^^)。ここは美香さんが作詞活動で利用していたお店とか。こんなに賑わうようになっていて、話し声しか聞こえなくて時間が経ったことを感じたそうだ。ここでは「偉大な音楽家」をリサーチ。清美ちゃんは小室哲哉さん。小室ファミリーの中では華原朋美さんが好きとのこと。美香さんは小澤征爾さん。本も何冊も読んだそうだ。



清美・美香

本日ラストは「Big Holiday とビックなお腹」でお食事会。この辺に増田屋が…と言いかけて、「あった♡」と美香さん。ここでは「大型連休の思い出」をリサーチ。海外が好きで大人になってから行くようになったと清美ちゃん。シンガポールが好きとのこと。乗ろうとした飛行機が故障して待たされたことがあって、海外の飛行機は良くないな〜と実感したとか。大型連休はSKiだらけですからねえ…と美香さん。休みて感じてがしないらしい。毎年素敵な思い出を作ってくれて、ありがとうございます。

4月25日～5月1日にかけて東急町田ツインズにて「パンとお菓子のフェスタ」が開催され、稲石清美ちゃんがパンケーキのお店を出店。2枚のスフレパンケーキにクリームがついて美味しそうです。ストロベリースフレパンケーキは2枚重ねの上にクリームを乗せて立体的に出てきます。が、運んできた清美ちゃん、テーブルに置いた瞬間にクリームが崩れて苦笑い。慌てて調理場に戻っていきました(^^;)。この場所での出展は3回目で、他のお店のアドバイスを頂いたりして勉強になったそう。

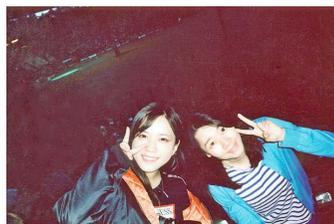


稲石清美

5月1日に「ビックな企画 第5弾！西武ドーム(メットライフ)で野球観戦」が行われました。まずは西武球場前駅改札付近に集合。参加メンバーは美香・愛里彩の二人。メインイベントの野球観戦がナイターに変わったとのことで集合時間が13時50分に繰り下げになりました。遅れているお客さんを待っている間はプチお話タイム。起きたばかりのありちゃんはお腹ペコペコだそう。周りにはたくさんの屋台が並んでいて、野球よりも屋台が気になる様子です(^^;)。16時開場なので、それまで時間つぶしに近くを散策。球場敷地を出る途中でお客さんが焼き鳥やたこ焼きを買ってきたので、散策前に軽く腹ごしらえをします。お腹も満たされた所で再び出発。狭山不動寺に行こうとしたけれど、目の前に壁のような階段が見えて断念したとか(^^;)。ゆるやかな坂を登る内に、ありちゃんが『ここ来た事ある～』と何かを思い出したようだ。4年前にSKiのお花見イベントで来ていますね。坂を登ると『団子美味しそう！』とありちゃん。団子屋の前に神社が見えます。山口観音金乗院で、(たこ焼きでソースまみれになった)手を清めお参り(笑)。参拝も済ませた所で待望のお団子を買に行きます。売っている親父さんが職人氣質の頑固親父で言い方がキツく、美香さんの心は折れかけて、ありちゃんは少々怒っていました。ここで、雨がポツリポツリと降りだしてきました。ポラを撮っていたら雨足が強くなってきたので、西武ドームに戻ります。でもまだ開場前なので、自由時間に。屋台で買い物したりトイレタイムだったり、各々自由に過ごします。ありちゃんは屋台をハシゴしていたみたいです。(ちなみに買っていた物は、爆弾焼きキムチ味、ホイップと餡を挟んだメロンパン、唐揚げネギ塩味、ロングポテトソルト味…)。開場時間の16時を過ぎたので、雨が降っている中で列に並びます。30分掛けてようやく入場。ありちゃんは西武ドームに入るのは2度目ですが野球観戦は初めてのようで少し興奮気味でした。美香さんいわく、『ホントが一番安い外野席を取りたかったけどすぐに完売していて買えなかったから、3,000円の内野指定席にしました。おかげで予算が…』との事です(^^;)。外野席の芝生席は寝ころがれるから人気なんでしょうね。試合は乱打戦になって、あっという間に19時を廻ります。ここでメンバーは翌日に備えて帰路につきます。お客さんは自由解散で、アフタータイムを楽しんでいました。



愛里彩・美香



愛里彩・美香

5月2日に「ビックな企画 ラスト！多摩川・川下り」が行われました。まずは登戸駅に集合します。今回のゲストは野見山杏里ちゃん。「杏里ちゃんと言えば雨」が有名ですが、案の定天気予報に反して雨が降っています(^;^;)。「私が来たばっかしに雨が降って…」と申し訳なさそうに挨拶する杏里ちゃん。でも皆さんとお話出来るのを楽しみにして来たとのこと。スーパー照るちゃんの活躍もあって、イベントが始まると雨が止むのも恒例です。青空も見えるようになって来て、川下りに出発します。まずは登戸の渡し付近に到着。予定されていたボートは、天候の都合で中止に。対岸に打ち上げられているボートをバックに記念撮影を行います。より良い景色を求めて橋の下を移動する杏里ちゃん。トコトコと小走りする姿が可愛いです(^)。ここから多摩川に沿って遊歩道を下っていきます。“かわさき水辺の楽校”に着いて土手を降りて散策。近くでは釣りを楽しんでいる方がいます。ここでツーポラを行い、そそのかされて、傘でお客さんを釣り上げる杏里ちゃん(笑)。魚は下ろせるし、烏賊も解剖できるので大丈夫なので、釣りもやってみよう。ここからショートカットで土手を上って遊歩道に戻ります。結構急な坂で登るのに苦労していたようだ。ニケ領せせらぎ館に到着して、様々な亀を外に出しているところに遭遇。誘われるように館内を見学します。多摩川の航空写真が床に印刷されていて、館長さんの説明をいただきます。緑の線があって、そこを境に多摩川か他の川に水が流れるかがわかるようになっています。地図の上の多摩川に沿って歩く杏里ちゃん。あつという間に川下りが終わったようだ(^;^;)。美香さんは拡大鏡で事務所を見つけて嬉しそう。でもそこは緑の線の外でした。せせらぎ館を出ると、正一位船島稲荷大明神が飛び込んできます。鮮やかな色の鳥居をくぐり、参拝も済ませます。小さな井戸があって、全身の力を使ってポンプを動かす杏里ちゃん。初めて井戸で水をくみ上げたそうだ。そのポンプを軽々と動かすお客さんを観て、「おかしいなあ…」とつぶやいていました(^;^;)。川下りを再開して、宇奈根の渡し付近にコンビニがあるので少し立ち止まって休憩を取ります。お客さんがアイス差し入れをして幸せそうにアイス頬張る杏里ちゃん。すかさずポラ撮影会が始まります(^)。うなねパークゴルフコースでベンチを見つけて、ようやく腰を下ろして休憩を取ります。靴が借り物なので汚すと怒られると杏里ちゃん。出かけに親が爆睡していたので許可を得ていないらしい(^;^;)。気を取り直してラストパートで二子新地の陸橋下に到着して、「終点です♡」と美香さん。「やっと登戸から橋のたもとへ…。かなり歩きました…」とバテバテの様子です。もう少し休憩する場所あるかなと思ったそうだ。「足腰が…」と杏里ちゃん。いちばん若いはずなのに太ももあたりが…とこちらも疲れた様子です。この後は「疲労回復～ファイト！打ち上げ！！」で、疲れた体に栄養を補充します。橋を渡って二子玉川ライズ・ショッピングセンターに向かいますが、予定されていた場所が改装中でお休みに…。そこから彷徨ってお店を探します。途中で見つけたお店を通過して「全然あそこで良いんですけど」と訴える美香さん。なんとか席も空いていて、無事にお食事イベントが始まります。ここでは「疲労回復するもの」をリサーチ。ヲタク活動と杏里ちゃん。甘いものはストレス発散になるそうだ。お風呂と美香さん。でもシステム上入浴剤が入られないのが残念だそうだ。この後は三次会(みじかい)が行われて、[甘いものを杏里さんに…コーナー]で楽しみました。



美香・杏里

